

# 臨地実習（在宅看護学）

[実習] 2年 通年 選択 180時間 4単位

《担当者名》○竹生礼子 [take-r@hoku-i-ryo-u.ac.jp]  
川添恵理子 [e-kawa@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

## 【概要】

### 在宅看護管理実習

療養者・家族に対する専門性の高い継続看護マネジメント・事業所運営・多職種連携・地域連携を展開するための組織づくり、地域の在宅ケアシステムの基盤づくりについて学ぶ。

- 1. 訪問看護事業所にて実習し、事業所の開設、管理・運営、ケアの質改善について実践的に学ぶ。
- 2. 医療機関の退院調整部門において実習し、継続看護マネジメント、多職種連携、地域連携、在宅チーム（終末期医療グループ等）構築について学ぶ。

## 【学修目標】

- 1. 訪問看護事業所の開設、運営管理および組織づくり、看護の質向上のための活動について理解することができる。事業所を取り巻く地域の保健・医療・福祉体制の特性の把握、地域ケアシステムのアセスメントを行い、地域のニーズ、社会資源、人々の価値観などについての把握から、地域のニーズに基づいた、事業所の開設計画、事業所の経営分析、運営方法の検討、ケアの質改善の計画を立てる。
- 2. 療養場所を移動しても療養者と家族が安心して療養できるようにするための継続看護の機能、医療機関における多職種連携の実際を学び、在宅医療チーム構築の在り方を深く考察する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目的を達成するための、実習計画書を作成し、計画に則って実習を行う。</li> <li>-1: 訪問看護ステーション</li> <li>1) 1週目: 訪問看護ステーションの開設方法、運営、組織づくり、質の向上のための活動について、実習指導者の講義及び資料からアセスメントし、管理上の課題や質改善の方向性を見出す。課題解決計画を立案し、実習指導者とともに協議する。</li> <li>2) 2週目: 訪問看護ステーションを取り巻く地域のアセスメントを行い、地域のニーズ、社会資源、人々の価値観などについて把握する。地域のニーズに基づいた、在宅ケアの基盤づくりのための活動計画を立案し、実習指導者および実習期間と連携している多機関の職員と討論を行う。</li> <li>-2: 医療機関の地域連携室・退院支援部門</li> <li>1) 1週目: 継続看護の機能の理解</li> <li>・地域連携室・退院支援部門の機能及び管理・運営についてオリエンテーションをうける。</li> <li>・臨床指導者にシャドウイングし、継続看護マネジメントにおける専門看護師の6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）を意識して傍らにて見学する。</li> <li>2) 1週目: 多職種連携・地域連携の在り方の理解</li> <li>・医療機関等を含めた多職種連携の場面に参加し、在宅医療チーム構築の在り方を検討する。</li> <li>3) 2週目: 継続看護マネジメント・多職種連携の実践</li> <li>・退院支援を要する療養者に対し、自らケアを実践し、病棟および外来看護師、多職種、地域のサービス提供者と連携して看護を展開する。</li> <li>・実習後、実習レポートを作成する。</li> </ul>	竹生 川添
	実習方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習目的を達成するための、実習計画書を作成し、計画に則って実習を行う。</li> <li>-1: 訪問看護ステーション</li> <li>1) 1週目: 訪問看護ステーションの開設方法、運営、組織づくり、質の向上のための活動について、実習指</li> </ul>	

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>導者及び資料から理解する。</p> <p>2) 2週目：訪問看護ステーションを取り巻く地域の在宅ケアシステムのアセスメントを行い、地域のニーズ、社会資源、人々の価値観などについて把握する。地域のニーズに基づいた、事業所の開設計画、事業所の経営分析、運営方法の検討、ケアの質の改善の計画を立てる。</p> <p>3) 地域のケアシステムのアセスメントからとらえた課題の解決のための方策、在宅ケアの基盤づくりのための新たな看護サービス提案をする。</p> <p>-2：医療機関の地域連携室・退院支援部門</p> <p>1) 1週目：継続看護の機能の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携室・退院支援部門の機能及び管理・運営についてオリエンテーションをうける。</li> <li>・臨床指導者にシャドウイングし、継続看護マネジメントにおける専門看護師の6つの能力（卓越した実践、教育、相談、連携調整、研究、倫理的問題の調整）を意識して傍らにて見学する。</li> </ul> <p>2) 1週目後半：多職種連携・地域連携の在り方の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関等を含めた多職種連携の場面に参加し、在宅医療チーム構築の在り方を検討する。</li> </ul> <p>3) 2週目：継続看護マネジメント・多職種連携の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退院支援を要する療養者に対し、自らケアを実践し、病棟および外来看護師、多職種、地域のサービス提供者と連携して看護を展開する。</li> <li>・実習後、実習レポートを作成する。</li> </ul>	
	実習場所	<p>-1：訪問看護ステーション（北海道医療大学訪問看護ステーション）</p> <p>-2：医療機関の地域連携室・退院支援部門（福島県立医科大学会津医療センター または 近森病院 地域医療連携センター）</p>	
	実習期間	<p>実習期間 -1、-2につき各2週間、計概ね4週間とするが、課題達成していない場合には延長する。</p>	

#### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

実習課題の達成状況（40%）、実習レポート（60%）

#### 【教科書】

適宜提示する

#### 【参考書】

適宜提示する

#### 【学修の準備】

実習目的を明確にし、実習計画を立案する。事業所運営や人事管理、看護管理に関する文献検討や、実践の中から浮かび上がった疑問・課題をまとめておくこと。地域連携、多職種連携、退院支援、継続看護マネジメント等に関する文献検討や、実践の中から浮かび上がった疑問・課題をまとめておくこと。

#### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。